



令和8年9月号
わたぐもこどもセンター

育児講座「人形劇団 ふわふわ 公演会」(要予約)

人形劇団ふわふわさんは、2016年より千葉縣市川市にアトリエを構え、市川市および近郊の幼稚園、保育園、子育て支援センター、特別支援学校、老人施設、商業施設等で公演活動をしています。ふわっと優しい気持ちになれる人形劇とパネルシアターをお届けします。人形劇を親子や園児と楽しみましょう。

日 時：令和8年9月17日（木） 10：30～11：15（受付 10 分前）

定 員：10組程度

場 所：うみかぜ保育園2階ホール

費 用：無料



※ ネット、電話での予約はできません。申込書はセンターにあります。（8/20より申し込み開始）

※ 観劇中に声を出したり、泣いてしまっても大丈夫です。ママやパパと一緒に座って見ましょう。

子育てはオーダーメイド！！（新ままでの手帳より）



人間はみんな違うので、なかなか育児書通りにはいきませんね。

大切な我が子を一番知っているのは親です。その子に合った子育てが一番。

周りとは比べないで、我が子としっかり向き合ってあげてください。乳児期の愛着形成は、必ず成長につながります。

新ままでの手帳はセンターにあります。

先輩ママ・パパの体験談

正解は一つじゃないけど、こうしてみたよ

「好き嫌いが激しいりんちゃん（3歳）」

りんちゃんのご飯より、お菓子が好き。せっかく作ったハンバーグもいつも食べず、大好きなスナック菓子をポリポリしています。「味覚は3歳までに作られる」と聞くと、心配になるし、なによりも栄養がかたよるのではないかと心配です。一所懸命に作ったご飯を食べてくれないとやっぱり頭に来るし、食事の時間は、りんちゃんへの注意が多くなってしまいます。ご飯の時間は、りんちゃんにとってもママにとってもストレスが多い時間になってしまいます。

「さくらさん（15歳）の場合」

幼い頃、少食な上、とても偏食でした。食べられるものを数えてみたら、5種類程度でした。

決まったものばかり食べる「ばかり食べ」の時期が長く続き、栄養が偏るのでは？と心配でしたが、とにかく何か食べていて、身体が成長していたらそれでOKと割り切りました。

小学校高学年になると体の成長とともに、食欲も出てきました。調理実習で料理を作ったのがきっかけで、料理を作るのが好きになり、様々な食材にチャレンジ！今では毎日の食事を楽しんでいます。

「Aくん（15歳）の場合」

夜寝てくれない。食べてくれない。場所見知り、人見知り、目を離れた一瞬で逃亡・・・気に食わないと、癇癪を起こして1時間号泣。

何もかも思っていた子育てと違っていました。トンネルを抜け出たくて相談の電話をかけました。

もしかしたら、正解の子育ても間違った子育てもないのかもしれない。でも、その子に合う子育てというものは確実にあると思います。専門家や医療機関のアドバイスを受け、同じような悩みを持つ親子とのつながりが出来て私達の生活は少しずつ変わっていきました。息子に合わせたオーダーメイドの子育てをしていくうちに、少しずつ息子の行動の意味がわかってきました。・・・今の息子は毎日楽しく生活しているよ。ご飯もたくさん食べているよ。私も毎日楽しいよ。

だから皆さんも、きっと「なんとかなるよ、だいじょうぶ！」